

R5年度 SSH天文学研究プロジェクト 天体観測・撮影技術講習会報告

実施日程

- ① 令和5年6月16日（金）～17日（土）
- ② 令和5年7月31日（金）～8月1日（土）
- ③ 令和5年9月1日（金）～2日（土）
- ④ 令和5年12月15日（金）～16日（土）

担当教員 吉田 允彦 松岡 大愛

実施場所 本校視聴覚教室、屋上

特別講師 岡田 昌訓 先生（元大阪府立布施高等学校地学科指導教諭）

参加生徒 1年生20名 2年生20名

■仮説

専門家の指導の下、天文学や写真についての知識や技能を身に着けることで、宇宙や天文学に対する興味関心が高まり、学習に対して前向きな生徒が育つ。

■実践

講義

- ① 「天体望遠鏡の扱い方、天体写真撮影法について」
- ② 「本日の星空と夏の満月はなぜ低いか」「望遠鏡では惑星はゆらめいて見える」
- ③ 「ビッグバン宇宙について」
- ④ 「恒星の一生（オリオン大星雲、かに星雲等）、流星群について」

観測（実習）

- ① 「月・水星の観測」
- ② 「望遠鏡を使ってスマホで月を撮る、望遠鏡で明るい星を導入する」
- ③ 「土星・月（スーパーブルームーン）の観測」
- ④ 「土星・木星・星雲星団・ふたご座流星群の観測」

■評価

従来、天文部と写真部のみで実施していた観測会を、令和5年度は、特別講師を招き、対象生徒を一般生徒にも広げた。専門的な講義と技術指導の下、観測会を実施した結果、参加生徒は、宇宙や天体への関心が高まり、また観測や撮影の技術も身についた。